

令和元年度  
飯南町総合振興計画等策定委員会  
答申書



令和元年7月8日 赤名半夏まつり 瀬戸山城から見下ろす花火

令和元年9月10日答申  
飯南町総合振興計画等策定委員会



## 1 はじめに

令和元年度は、「第2次飯南町総合振興計画」が4年目、「飯南町総合戦略」は5年目となり、総合戦略については最終年度となりました。これに伴い、今年度は、第2次飯南町総合振興計画後期計画と第2次飯南町総合戦略を一体的に策定することになりました。

この新たな計画の策定にあたり、第1回飯南町総合振興計画等策定委員会では平成30年度における施策状況の説明を受け意見交換を行いました。

答申書では、各種団体から選ばれた幅広い委員の意見を取りまとめておりますので、住民と企業・団体・行政が協働したまちづくりのための政策・施策の検討資料、また今年度策定をする計画の参考として皆様にご周知いただきますようお願いいたします。

## 2 評価の目的

飯南町総合振興計画等策定委員会設置要綱の規定により、「飯南町総合振興計画」並びに「飯南町総合戦略」の達成、進捗状況等について評価を行い、住民と行政が協働し、地域の特性にあった個性豊かで住民が真に暮らしやすいまちづくりを推進するとされています。同要綱に沿い、飯南町を取り巻く現状と課題の把握と総合振興計画・総合戦略の達成、進捗状況の評価を行いました。

## 3 評価の方法

飯南町総合戦略の事業進捗や取組み状況を確認し、事業推進に対して策定委員より助言・提案を行いました。

やむを得ず出席できなかった委員については資料を送付し、記載による意見集約を行っております。

また、委員から出た質問についても併せて報告します。委員からの質問は、地域住民等への事業説明などを行う際の参考になるものと考えております。

## 4 評価の状況

### 1) 評価委員による総評

評価方法については、総合戦略に掲げる施策等の説明を受け、これについて提言や意見交換を行う形で進めています。

全体的に、行政では様々な施策を行っており、地域住民の安心安全な生活を守る対策がきめ細やかに進められております。しかし、その周知方法については弱いという評価がありました。

「自治会文書」や「広報い〜なん」などの他、特に周知したい方を狙った周知方法についてもご検討いただきたくお願いします。

### 2) 総合振興計画等目標指標の状況（抜粋）

| 目標指標            | 基準値 (H26)                         | 平成 30 年<br>実績値           | 目標値 (H31)                       |
|-----------------|-----------------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 出会いの場の創出からの相談件数 | 10 件/年                            | 10 件/年                   | 20 件/年                          |
| 婚姻数             | 14 組/年<br>(H22-26 平均値)            | 12 件/年<br>(平均 14.25 組/年) | 20 件/年<br>(H27-31 平均値)          |
| 飯南高校生徒数         | 188 人                             | 191 人                    | 180 人以上                         |
| UI ターン移住者数      | 35 人/年<br>(H22-26)                | 44 人/年<br>(平均 47.75 人/年) | 53 人/年<br>(H27-31)              |
| 入込観光客数(旧調査)     | 293,007 人                         | 337,335 人                | 350,000 人                       |
| 出生数             | 137 人/5 年<br>年 27.4 人<br>(H22-26) | 23 人<br>(平均 25 人/年)      | 180 人/5 年<br>年 36 人<br>(H27-31) |
| 社会増減数           | -13.2 人/年<br>(H22-26)             | -13 人/年<br>(平均値 -1.75 人) | +5 人/年<br>(H27-31)              |

※平成 30 年 実績値 カッコ内は H27-30 年の平均値

### 3) 評価委員からの評価・意見・提案・質問等

※飯南町総合戦略に沿って記載

施策1－政策1、施策1－政策2 意見等無し

|  |
|--|
| 施策1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる   |
| 政策3 女性の出産・子育ての希望をかなえる  |
| <p><b>【意見・提案等】</b></p> <p>(不妊治療支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内でもトップクラスという事であるが、どの程度の支援策なのかが分からない。アピールとなるため、取組み内容・実数を出して進める事が必要。</li> </ul> <p>(3世代家族支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3世代に対して支援している町であることが外部にPRできることが重要。3世代世帯での介護や子育て環境づくりなど、内容を限定し現在の3世代への支援枠を広げてはどうか。新たに3世代世帯になるケースは減少する傾向にもある。</li> <li>・3世代家族を誘引する施策としては、補助額が少ないのでは。インパクトが低い</li> </ul> <p>(子育て協力企業支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても良い事業である。子育て支援企業・団体の事例を積極的に発信してほしい。定住を考える条件の一つになる。</li> </ul> <p>(子育て支援体制強化事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の子育て支援の一環として、子ども食堂のような機能が必要になるのではと思われる。UIターン・核家族の増加があると子育てを支えきれない家庭が出てくると思われる。</li> </ul> <p>(夏休み居場所づくり事業、放課後居場所づくり事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営経費とのバランスもあるが、時間など利用者の声を聞き、要望に沿った対応をお願いしたい。</li> </ul> <hr/> <p><b>【質問等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の子どものお預かり(学童)する時間はどうなっているか。</li> </ul> <p>Ans : 15 : 30～18 : 00 まで見ている。今年度より志々地区もさつき会館にて開設している。</p> |

|  |
|--|
| 施策2 飯南町への新しいひとの流れをつくる  |
| 政策1 地域魅力の発掘・発信   |
| <p><b>【意見・提案等】</b></p> <p>(飯南子育て情報発信事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信のため、ホームページを改修すると聞くが、誰が管理・更新するのかを決めて進めていく必要がある。体制も考えつつ進めるようにしてほしい。</li> </ul> |

(ふるさと納税充実事業)

- ・返礼品のお肉は良いが届いた時の感動が無い。外観のパッケージや、開けた時の装飾（パンフレットや礼状など）を含め、飯南町の魅力が伝わるようにしてほしい。発送自体にもこだわっていかないと魅力が伝わらない。受け取る側の意見も集めてみては。

(人材輩出機関情報提供事業)

- ・町内での仕事を探すことができるため人材確保センターの取組みは大変良い。ただし、若い方の認知度が低い感がある。

(求人情報魅力化事業)

- ・求人を見ても分かりにくい。より分かりやすくし提示することが必要である。

(飯南町無料職業紹介所拡大事業)

- ・少しだけ働きたい子育て初期の母親と、少し作業を依頼したい事業者・団体とのマッチングさせる仕組みを作ってはどうか。ワーキングシェア事業とも連携しつつ取り組まれると良い。

施策2 飯南町への新しいひとの流れをつくる

政策2 飯南町のファン拡大

【意見・提案等】

(中山間地域で活躍する人材育成事業)

- ・町内での優れた取組みを学ぶ事もよいが、町外の優れた取組みをしている所を調査し、町に対して提案するなどのグループやプログラムを作っても良いのでは。

【質問等】

- ・森林セラピー事業での、「シャワークライミング」とはどのような体験なのか。

Ans：ウェットスーツを着て、川を上っていく（沢登り）体験である。

施策2 飯南町への新しいひとの流れをつくる

政策3 定住の促進

【意見・提案等】

(定住促進賃貸住宅事業)

- ・新築のみでなく、中古住宅（古民家等）をセミオーダーで改修して購入させることも検討しては。空き家活用にもつながると思われる。
- ・この制度は本当に良い。ただしアピールが足りない。申し込みが多いのかもしれないが、町のアピールのためにも積極的に宣伝してほしい。

(地域おこし協力隊受入事業)

- ・若い方の応募もあり、UI ターン対策として有効であるため、任期終了後に定着できるようにしっかりとしたフォローをすることが必要である。

(高度技術者確保対策事業)

- ・高度な技術者確保も必要だが、採用から任期後の定住も含めた取組みが必要である。

【質問等】

- ・任期付採用職員について、任期が終了した場合はどうなるのか。

Ans : 引き続き必要となれば再募集を行う。基本的には一度雇用が終了し、再度雇用する形となる。ただし、今年度初めて雇用終了する方もいるため、まだ検討中である。

- ・地域おこし協力隊の地域定着率はどの程度か。

Ans : 23人中7人が飯南町に定着(R1.7.1現在) 定着率30.4%と低い感じもするが、地元の方と結婚した方が3名おり、退任された方とも交流は続いており、関係人口の拡大になっている。

- ・地域おこし協力隊は、年度途中で採用することは可能か。

Ans : 年度途中からでも採用は可能。

施策3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる

政策1 夢と希望の持てる飯南農業の実現

【質問等】

- ・飯南きのこ生産拡大事業について、人員不足で生産量が拡大しないため、新たに参入された企業に施設運営を依頼するのか。

Ans : 新たな企業に依頼するのでなく、事業項目に掲げる施設は、飯石森林組合佐見営業所近くにあるきのこ生産施設であり、現在運営している企業のスタッフが不足しているという事である。人材確保を含めた対策が必要。

施策3-政策2 意見等無し

施策3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる

政策3 「しごと」場の維持・創出

【意見・提案等】

(ワーキングシェア事業)

- ・町内、町外問わず、テレワークできる企業との連携を考えてほしい。

(ビジネスコンテスト事業)

- ・応募が少ない感じがする。やりたい方を見つけてトライさせることと併せて、興味関心がある方、応募される方とのネットワークを作っておくことも必要である。

(遊休施設活用事業)

- ・飯南町内での遊休施設の場所や規模などをリスト化し、活用を考えるべきでは。一般住民ではどの施設が使えるのか分からない。

(「森林」を活かした地方創生事業)

- ・竹林整備や竹の有効利用について考えてほしい。またクロモジの活用について、島根県中山間地域研究センターとの連携をしつつ検討してほしい。

**【質問等】**

- ・応募が多くなるような対策はしているか。

Ans : 事業の案内は、自治会文書・ホームページ等で行っているが反応が少なくなっている。応募を多くすることも必要だが、起業には、計画づくりも重要となるため、作成について支援している。また、創業後も早期に自立させるため、支援策を設けている。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる

政策1 安心して長生きできる環境づくり

**【意見・提案等】**

(医療・介護人材育成事業)

- ・赤名地区の医療施設の確保は考えているか(志々・頓原・来島・谷にはある)。将来の医療体制について考えを持つ時期である。

(冬季宿泊施設事業)

- ・アンケートを取られた事もあったが、将来的には必要だと思われる。

(医療人材適正配置事業)

- ・助産師を配置し、出産までのサポートを行う事はできないか。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる

政策2 田舎だからこそキラリと輝ける教育環境づくり

**【質問等】**

- ・学習支援館について、高校と学習支援館の連携はあるか。生徒の進路希望などの状況を共有するなど。

Ans : 教育委員会にて委託している事業のため、連携をしている。基本的には高校の支援という動きであり、最終的には、生徒の選択を支援していく事を重視し、連絡体制を整えている。

施策4 安心・快適に暮らせる「まち」をつくる

政策3 不便を感じない生活基盤の整備

**【意見・提案等】**

(公共交通等優待乗車券販売事業)

- ・バス、デマンドバス利用者の感想や年齢を定め、一定以上の年齢で利用していない方へ対し、なぜ利用しないかなどアンケート調査をし、ニーズ調査を行ってほしいと思う。

(生活インフラの維持・改善)

- ・生活交通について、免許返納の支援事業と密接に関わることである。保健福祉課や関係機関としっかり連動して進めてほしい。

(飯南町へのアクセス整備事業)

- ・生活支援として地域住民の利便性はもちろんであるが、観光など他の課と連携しながらダイヤ整備をしてほしい。

(インターネット環境充実事業)

- ・高速化と医療・介護の活用はどのように利用できるのかを示しながら取り組むことが必要である。

#### 【質問等】

(公共交通等優待乗車券販売事業)

- ・町内の民間タクシー優待券の販売額はいくらか。

Ans : まだ販売まで至っていない。一過性の施策とならないようにするため、制度設計をしている。

- ・集落支援員は、行政の判断で設置することができるのか。

Ans : 行政の考えで配置も可能であるが、人材不足の他、現段階では概ね公民館単位に配置をしている。

- ・インターネットについて、通信能力が高くなるのは良いが、利用者側で何か準備することがあるのか。

Ans : インターネットでは特別に準備は必要ない。衛星放送も今まで通り見ることが可能。ただし、4K以上になると各自にてチューナーやテレビの購入が必要となる。

## 5 次期 飯南町総合振興計画・総合戦略にあたり

### ・K P I の設定

地域振興系のK P Iは、アウトプット<sup>1</sup>の指標設定となっている。事業を取組み、その結果として得られるアウトカム<sup>2</sup>の指標を設定しなければ成果として表しにくい。

また、教育魅力化についても、子どもが育つ力や対応力と共に、Uターンに繋がっているのかの検証が必要である。教育魅力化による定住状況やU I ターンの数など、アウトカムの指標を検討すべきである。

<sup>1</sup> アウトプット：事業を実施することによって直接発生した成果や事業量のこと。

<sup>2</sup> アウトカム：施策や事業の実施により発生する効果や成果のこと。

## 6 添付資料

- ・平成 30 年度総合振興計画・総合戦略 目標指標・実績数（資料 2）
- ・平成 30 年度地方創生推進交付金事業実績及び令和元年度事業  
国立公園「三瓶山」を核とした観光振興（資料 3）  
森林資源活用による林業の魅力づくりプロジェクト（資料 4）  
学校を核とした官民協働による地方創生プロジェクト（資料 5）
- ・飯南町総合戦略 施策実施状況報告書（資料 6）

## 7 令和元年度飯南町総合振興計画等策定委員会

| 委員氏名  | 所 属 等                   | 備 考  |
|-------|-------------------------|------|
| 信藤 一郎 | 公募による住民                 | 委員長  |
| 藤原 美保 | 公募による住民                 | 副委員長 |
| 半田 眞道 | 公募による住民                 |      |
| 山本かおり | 公募による住民                 |      |
| 吾郷須摩子 | 飯南町社会福祉協議会 保育専任次長       |      |
| 若林九二夫 | 飯南町商工会 事務局長             |      |
| 岸 卓志  | 頓原集落営農組織連絡協議会 会長        |      |
| 大坂 俊光 | 飯南町PTA連合会 会長            |      |
| 徳永 光子 | (株)山陰合同銀行 赤名出張所 出張所長    |      |
| 杉谷 健司 | 山陰中央新報社 経営企画局 担当局長      |      |
| 有田昭一郎 | 島根県中山間地域研究センター 地域研究科 科長 |      |